

相加平均と相乗平均

1 $a > 0, b > 0$ のとき、次の不等式が成り立つ。

$$\boxed{\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}} \quad (\text{相加平均}) \geq (\text{相乗平均})$$

【証明】 左辺 - 右辺 = $\frac{a+b}{2} - \sqrt{ab} = \frac{1}{2}(a+b-2\sqrt{ab}) = \frac{1}{2}(\sqrt{a}-\sqrt{b})^2 \geq 0$

等号成立は、 $\sqrt{a}-\sqrt{b}=0$ つまり、 $a=b$ のとき。

<図形的意味>

右図のような半円において、
 $\triangle ABH \sim \triangle CAH$ (\because 2角が等しい)

対応する辺の比は等しいから、

$$AH : CH = BH : AH$$

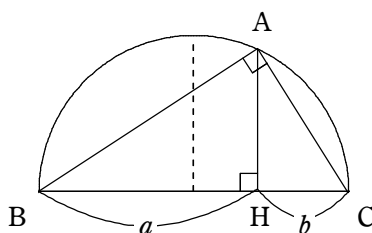
$$\text{よって、} AH^2 = BH \cdot CH$$

$$\text{ゆえに、} AH = \sqrt{ab}$$

一方、この円の半径(図の点線)は $\frac{a+b}{2}$ だから、

半径 $\geq AH$ が成り立つことは図より明らか。

ゆえに、 $\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}$ が成り立つ。ただし、 $a > 0, b > 0$



また、半径 = AH になるのは、 $a = b$ のときであることも図からわかる。

【参考】 $\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab} \geq \frac{2ab}{a+b}$: 調和平均 = $\frac{1}{\frac{1}{a} + \frac{1}{b}}$ ← 興味のある人は証明にChallenge!

2 $a > 0, b > 0$ のとき、次の不等式を証明せよ。

$$\frac{b}{a} + \frac{a}{b} \geq 2$$

【解答】 $a > 0, b > 0$ だから、正の数 $\frac{b}{a}$ と $\frac{a}{b}$ に相加平均 \geq 相乗平均の関係を用いると、

$$\frac{b}{a} + \frac{a}{b} \geq 2\sqrt{\frac{b}{a} \cdot \frac{a}{b}} \quad \text{ゆえに} \quad \frac{b}{a} + \frac{a}{b} \geq 2$$